

# 第1学年1組 生活科学習指導案

## 1 単元名 ○○小 しょくぶつ たんけんたい

## 2 単元について

本単元は、主に、生活科の内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。」と関わるものである。また、(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに関心をもつとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。」についても、他の単元との関わりとして関連付けている。

### <児童の思いと教師の願い>

本校は、教育に関心の高い家庭が多く、幼少期から読み・書き・計算に親しんでいる児童が多い。また、全児童が学校近隣のマンションに住んでおり、登下校にかかる時間は10分以内である児童が多い。そのような状況から、植物の生態(実の中に種子ができることや秋になると落葉することなど)について詳しい児童が比較的多い半面、登下校中に植物と触れ合う機会が少なく「身近な植物の観察や遊びの体験から、それぞれの違いや特徴を見付ける経験」をしている児童は多くないと考える。

しかしながら「ベイタウン」と呼ばれる本校を含めたこの街は、都市計画に基づき、緑地が十分に整備されているため、街路や公園などに多種多様な植物が植えられている。また、本校の敷地内には、各学年棟に畑や花壇があり、中庭にも樹木や草花がたくさん自生している。

そのような児童の実態と周囲の環境を生かし、本単元の学習では、以下のようなものの見方や考え方を育てたいと考える。

◎植物と触れ合うのは楽しいということ。

◎葉を使った遊びはたくさんあり、工夫することでより楽しめるということ。

○○○小の敷地内や近隣の公園や街路には植物がたくさん生えており、ベイタウンは緑が多い街であるということ。

○初夏は、花はあまり咲いていないが、新緑の美しい季節であること。

○葉の形や色、大きさなどは多種多様であること。

○葉の色や大きさは季節によって変わることを、また変わらないこと。

以上のことから、本単元では、新緑の季節である5月～6月の生き生きとした植物と児童との出会いを魅力的なものにすることで、児童の植物に対する興味や関心を高めたい。そして、そこから派生する遊びを通して知的好奇心をさらに刺激し、児童が主体的に学びながら植物の面白さや不思議さに気付いていけるような単元構成にしたいと考える。

## 3 単元の目標

校内の植物を利用したり、使ったりして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その特徴や不思議さに気付くとともに、自然により親しめるような遊びを創り出せるようにする。

#### 4 評価規準

| 単元の<br>評価規準     |   | 知識・技能                                  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----------------|---|--|--|---|
|                 |   |  | 校内の植物を利用したり、使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、その面白さや自然の不思議さに気付いている。 | 校内の植物を利用したり、使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくっている。          |
| 小単元における<br>評価規準 | 1 | ・自然の事象の不思議さ(葉の形や色や大きさの違い)に気付いている。      | /  | ・ペアの友達と協力しながら、粘り強く「はっぱビンゴ」を完成させようとしている。                       |
|                 | 2 | ・遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。 |  | ・楽しみたい遊びを思い描きながら、遊びに使うものを選んでいく。<br>・遊びの約束やルールなどを工夫しながら、遊んでいる。 |

#### 5 研究の視点（生活科部会 研究計画より）

**視点1 自校の実態を見直し、低学年の児童の身近な「ひと もの こと」と体全体で関わる具体的な体験や活動を通す単元開発を積極的に行う。**

1学年の児童は、入学式以降しばらくの間は、スタートカリキュラムとして「学校と生活」に関わる実践を経験してきている。その一環として行った「学校探検 室内編」では、2年生に先導されながら、校内の施設や人とたくさん関わることができた。コロナ禍での活動であったため、決して十分ではなかったが、児童は、見たり、聞いたり、触ったりしながら、五感を活用して「がっこう」を全身で感じ取っていた。

その後に行った「学校探検 屋外編」では、敷地内の施設を見たり、遊具で遊んだりしながら、児童の「わくわく」をさらに広げることができた。しかし、児童が主体的に調べたり、体験したりする活動については十分に行えていない。

本単元は、1次で「はっぱビンゴ」を用いた植物探しを行い、2次で葉を用いた遊びを楽しむという単元構成にし、児童の思考の流れの連続性を重視した学習活動を行う。また、本単元は、次単元の「がっこうにくる みち かえる みち」と、並行実施単元の「はなや やさいと なかよし」に関連する単元として位置付ける。

校内の植物に目を向けることで「校外の植物はどんなだろう？」という児童の思考につなげ、葉の形や色に注目させることで「育てている朝顔はどんな形や色の葉なのかな？」という思考につなぐ。また、本単元では「葉」という共通の自然とじっくりと関わり合いながら、見付けたり比べたりすることで自然の面白さを実感できるようにする。次々単元の「なつとなかよし」では、遊ぶ対象が葉だけでなく、身近な色々なものに広がる。たくさんの対象物で活動する前段階として共通素材での活動を経験しておくことで、学び方が身に付き、より主体的に活動できるようになると考える。

そのような『比較、分類、関連付けにより事象を捉え、思考、予測、工夫等しながら次の活動を創り出す多様な学習活動』（引用元：生活科部会 研究計画）を経験させることで、本部会の研究主題の解明に迫ることができると考える。

**視点2 児童が「やってみたい」「できるようになりたい」という自分の思いや願いをもち、対象と進んでかかわる指導計画を工夫する。**

本単元では「植物の葉」が学習の中心となるため、それに関する興味や関心を高めることが主体的な学びのための絶対必要条件である。そこで、生活科の学習の素地作りとなる日常活動として「環境整備」と「読み聞かせ」の2つを単元の学習に並行して実施する。



(写真1) 葉を使った掲示物

「環境整備」としては、教室内に、葉を使った作品（写真1）や葉っぱコレクション掲示板（写真2）を常設する。それらの掲示物を児童と共に楽しみながら作成していくことで、葉を使った遊びについての「やってみたい」「作ってみたい」という欲求が自然と高まると考える。

また、図書の時間に行っている「読み聞かせ」で以下の絵本の読み聞かせを実施する。

- ・多田多恵子（2015）『ハートのはっぱ かたばみ』福音館書店
- ・小寺卓矢（2017）『いろいろ はっぱ』アリス館
- ・藤本ともひこ（2012）『ばけばけ はっぱ』ハッピーオウル社



（写真2）葉のコレクション掲示板

これらの絵本は、葉の形や色をテーマにした絵本であり、内容も低学年向けのものである。これらの絵本の読み聞かせを通して、児童は植物の葉に関する知識を増やしながらか、「やってみたい」「さらに知りたい」という欲求を高め、より意欲的に生活科の学習に取り組むと考える。また、これらの絵本の中には、児童にとって魅力的なオノマトペや比喩表現がたくさん出てくるため、児童が実際に葉を用いた活動をする際には、読み聞かせで聴いた言葉を引用しながら、豊かな言語表現による会話が生まれると考える。

そのような『体験と言葉による表現活動を存分に使って学ぶことのできる指導』（引用元：生活科部会 研究計画）を経験することで、本部会の研究主題の解明につながると考える。

### 視点3 主体的に学ぶことができる生活科の学習活動の工夫をする。

本単元では「はっぱビンゴ」（ワークシート参照）を単元の導入として行う。はっぱビンゴは、「ぎざぎざのはっぱ」や「こゆびの つめ より ちいさな はっぱ」、「あかいろのはっぱ」などのような指令を基に、児童が学校の敷地内を自由に回りながら多種多様な葉を採集する遊びである。

マス目は9マスあり、縦・横・斜めの全ビンゴを目指して活動する。ビンゴの中心は「ふしぎなおいがする はっぱ」とする。児童は、「学校探検 屋外編」の際に、虫除け効果のある「クスノキの葉」や抗カビ効果のある「ドクダミの葉」の刺激臭を味わっている。1年生児童にとって「臭いもの」という存在は、強烈な印象が残るため、ビンゴカードを見た児童はすぐにその時の記憶を蘇らせ、その場所や形状を想起し、採集への意欲を高めるだろう。

葉の形状を表す際には「ぎざぎざ」や「つるつる」といった擬態語や「ハートのような」や「星のような」等、児童がその姿を自由にイメージしやすい言葉を用いることで、葉の種類を特定し過ぎないようにする。そうすることで、児童は言葉のもつイメージを基に、その姿を想像しながら葉の採集を楽しむことができると考える。

また、2次の学習において、葉っぱを使った遊びを行う際には、図1のような学習の場を設定する。児童の活動の場を教室の中心に置き、遊び方のヒントになったり、知的好奇心を刺激したりする「遊びに使える様々な用具」はその周囲に配置する。そうすることで、活動と表現の連続性が維持されやすくなり、児童の遊びがより活性化すると考えた。

そのような『活動しながら考え、考えながら表現する』低学年の学び方の特性を踏まえた学習活動の工夫（引用元：生活科部会 研究計画）を取り入れることで、本部会の研究主題の解明につながると考える。



（図1）学習の場

6 本小単元の位置づけ

| 月  | 単 元 名                           | 学習活動 ( ) 内容  | ○時数   | ☆本単元   |  |
|----|---------------------------------|--|---|--|--|
| 4  | スタートカリキュラム⑥ ○活動を通して学校への安心感を高める。 |  |   |  |  |
| 5  | がっこう・ともだちと なかよし(1)(4)⑥          | ・2年生と交流する。<br>・学校探検をする。  |   | <b>はなや やさい と なかよし (5)(7)⑮</b><br>・アサガオの栽培活動に取り組む。<br>・ジャガイモの栽培活動に取り組む。<br><br>・チューリップの栽培活動に取り組む。 |  |
| 6  | 〇〇小 しょくぶつ たんけんたい(6)(5)⑧ ☆本単元    | 一次 葉っぱビンゴで植物探し<br>二次 葉っぱを使って遊ぶ   |   |  |  |
| 7  | がっこうに くるみち かえる みち (1)(4)⑥       | ・通学路探検をする。<br>・公園探検をする。  | なつと あそぼう(5)(6)⑪<br>・校庭で夏探しをする。<br>・夏の自然で遊ぶ。<br>・水遊びをする。 |  |  |
| 8  |                                 |  |   |  |  |
| 9  | いきものと なかよし(5)(7)⑥               | ・秋の虫に親しむ。<br>・校庭で秋探しをする。   |   |  |  |
| 10 | あきと あそぼう(5)(6)⑧                 | ・秋の自然で遊ぶ。<br>・「はっぱ」ビンゴ秋バージョンを楽しむ。<br>・見つけた秋の遊びを紹介する。   |   |  |  |
| 11 | 〇〇小 オウタムランド(6)(8)⑦              | ・秋の宝物を使って、友達と一緒に遊びを工夫する。<br>・楽しかった遊びや考えた遊びを人々に伝える。   |   |  |  |
| 12 | ふゆと あそぼう(5)⑮                    | ・身近な材料を使って、年賀状や正月の飾りを作って、新しい年を迎える準備をする。<br>・地域や家庭の大人から教えてもらいながら、伝承遊びの楽しさを味わう。<br>・風を利用した遊び道具を工夫してつくり、遊ぶ。<br>・北風や弱い日差しなど、冬の自然状況を生かした屋外での遊びを楽しむ。<br>・「はっぱビンゴ」冬バージョンを楽しむ。 |   |  |  |
| 1  | かぞくは なかよし(2)(5)⑥                | ・家庭の中で自分ができる仕事を考える。<br>・家庭の仕事についての発見や気づきを伝え合う。   |   |  |  |
| 2  | もうすぐ 2年生(8)(9)④                 | ・1年間にできるようになったことを伝え合う。<br>・関わった人や物に感謝の気持ちをもつ。  |   |  |  |
| 3  | はるを さがそう(5)③                    | ・校庭や近所の公園などに行き、春探しをする。<br>・「はっぱビンゴ」春バージョンを楽しむ。   |   |  |  |

## 7 単元構想

### (1) 児童の思いや願いを生かした活動



〇〇小にはどんな植物があるのかな。

葉っぱを使ってあそびたいな。



| 主 な 学 習 内 容 と 活 動   | 他 教 科 と の 関 連  |
|---|--|
| <p style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px;">おきにいりの はっぱを みつけよう！</p> <p>《期待する姿》</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">〇〇小には、たくさん植物があるんだな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">地域には、どんな植物があるのかな？</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">葉っぱでどんな遊びができるのかな？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">葉っぱには色々な形や大きさや色があるんだな。</div> </div> <p>○がっこうにはどんなはっぱがあるのかな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はっぱビンゴを楽しむ。</li> <li>・ 敷地内に自生する植物の大体の場所を把握する。</li> </ul> <p>○おきにいりのはっぱをはっぴょうしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植物カードで遊びながら、見つけた葉っぱを報告し合う。</li> </ul> | <p>&lt;道徳&gt;</p> <p>「しょくぶつは どの きもち？」</p> <p>植物を大切にす<br/>る気持ちを養う。</p> <p>&lt;国語&gt;</p> <p>「ききたいな とも<br/>だちのはなし」</p> <p>友達の話の内容を<br/>捉えて感想をもつ。</p>             |
| <p style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px;">はっぱで いっしょに あそぼう！</p> <p>《期待する姿》</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">葉っぱで遊ぶのって楽しいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">アサガオはどんな葉の形なのかな？</div> </div> <p>○はっぱで どんな あそびが できるだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 葉っぱを使ってやってみたい遊びを考えて、準備をする。</li> </ul> <p>○はっぱで あそぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 葉っぱを使った遊びを楽しむ。</li> <li>・ 友達と交流しながら、友達が考えた遊びを楽しむ。</li> </ul>   | <p>&lt;国語&gt;</p> <p>「ぶんをつくろう」</p> <p>文の中における主<br/>語と述語の関係を意<br/>識して文を作る。</p> <p>&lt;国語&gt;</p> <p>「おおきく なった」</p> <p>書くために必要な事<br/>柄を集めて文を書<br/>き、友達と交流する。</p> |

### (2) 単元の流れと評価（全8時間）

| ○学習内容（時数）  | ・評価の視点   | ◎手立て   |
|--|--|--|
| おきにいりの はっぱを みつけよう（4時間）   |  |  |
| <p>○ がっこうにはどんなはっぱがあるのかな（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はっぱビンゴを楽しむ。</li> <li>・ 敷地内に自生する植物の大体の場所を把握する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペアの友達と協力しながら、粘り強く「はっぱビンゴ」を完成させようとしている。【態度】</li> </ul> | <p>◎ビンゴカードの中心を「臭いのある葉」にすることで、児童の好奇心を高める。</p> <p>◎植物の採集をペアで行うことで、同じ種類の植物のカードが1ペアずつできるようにする。</p> |

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>○おきにいりのはっぱをはっぴょうしよう (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物カードで遊びながら、見つけた葉を報告し合う。</li> <li>・一番お気に入りの葉をカードに貼り付けて保存する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉っぱが、いろいろな遊びに利用できることに気付いている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> | <p>◎同じテーマで集めた葉でも人によって選んだ植物の種類が違ふことに気付かせることで、他の植物の存在に気付けるようにする。</p> <p>◎遊び方に工夫が見られたペアを紹介し、遊びを創造することへの意欲を高める。</p> |
|---|---|---|

はっぱで いっしょに あそぼう！ (4時間)

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>○カタバミの葉っぱで遊ぼう。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせから、かたばみに興味をもつ。</li> </ul> <p>○はっぱで どんな あそびができるだろう。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉っぱを使ってやってみたい遊びを考えて、準備する。</li> </ul> <p>○はっぱで あそぼう (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉っぱを使った遊びを楽しむ。</li> <li>・友達と交流しながら、友達と考えた遊びを楽しむ。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(本時)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみたい遊びを思い描きながら、遊びに使うものを選んでいく。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。</li> </ul> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のよさを取り入れたり、自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しむしようとしている。</li> </ul> <p>【態度】</p> | <p>◎葉っぱを使った遊び方の一例を紹介することで、思いや願いをうまくもてていない児童を支援する。</p> <p>◎遊びに使えるような用具(水を溜めるタライ、雨どい、画用紙、幅広セロハンテープ、ペットボトル等)を用意し、児童が遊びのイメージを広げやすくする。</p> <p>◎それぞれの児童の遊びを共有しやすくするために、行われている遊びをリアルタイムで表示する。(板書)</p> <p>◎活動の場と準備の場を区別し、児童同士の交流を行いやすくする。</p> |
| <p>○赤シソであそぼう (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉を使った色水作りという新しい遊びの概念を知る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの約束やルールなどを工夫しながら、遊んでいる。</li> </ul> <p>【知識・技能】</p>   | <p>◎葉を使った遊びが、まだまだたくさんあることに気付くことで、次の単元以降の学習意欲を高める。</p> <p>◎これまでに扱った葉以外の植物の存在に着目できるようにし、学校外の植物への興味・関心を高める。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【次単元】<br/>「がっこうに くるみち かえるみち」へ</p>  |

## 8 本時の学習

### (1) 本時の目標 (7/8)

- ・校内の植物を利用したり、使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり出ることができるようにするとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする態度を養う。

### (2) 本時の展開

| 時配  | 学習活動と内容 (○) 児童の予想される反応 (・)   | 教師の支援 (◎) と評価 (☆)  |
|---|--|--|
| 5   | ○前時の振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉っぱを使った遊びを考えたよ。</li> <li>・早く遊びたい!</li> <li>・ぼくの今の「葉っぱ探検隊レベルは5です。」</li> </ul> ○学習のめあてを確認する。  | ◎「葉っぱ探検隊レベル」を10段階で設定し、学習前の評定を自分で確認させることで、遊びの中から葉っぱについての気付きが出るようにする。                                      |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             はっぱをつかっていっしょに たのしく あそぼう           </div> |  |  |
| 15  | ○葉っぱを使って遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉っぱを並べて形をつくったよ。</li> <li>・葉っぱを浮かべて遊んだよ。</li> <li>・葉っぱを流して競走したよ。</li> <li>・葉っぱカードで遊びを考えたよ。</li> <li>・葉っぱに穴を空けてネックレスを作ったよ。</li> <li>・箱の中身を当てるゲームをしたよ。</li> </ul> | ◎「たのしく」という文言を強調し、遊びのマナーやルールを守ることへの意識を高める。  |
| 5   | ○遊びで気付いたことを伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉っぱで形作りの活動が面白そうだったのでぼくもやりました。</li> <li>・細長い葉っぱは水に速く流れたよ。</li> </ul>   | ◎活動の場を「外側＝作業場、内側＝遊び場」と区分けすることで、児童同士が情報交換をしたり、一緒に遊んだりしやすくする。  |
| 10  | ○葉っぱを使って遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今度は他の遊びをしてみよう。</li> <li>・さっきの遊びを遊び方を変えてやってみよう。</li> <li>・友達と競走してみたいな・</li> <li>・友達が教えてくれた遊びをやってみたいな。</li> </ul>  | ◎葉の特徴を生かした遊びをしていた児童を予め確認しておき、共有の視点がずれないように留意する。  |
| 5   | ○どんな遊びをしたか報告し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤い葉っぱだけを集めて遊びました。</li> </ul>  | ◎児童の言葉を板書し、他の児童の新たな気付きや発見につなげやすくする。  |
| 5   | ○次時の活動を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・また葉っぱで遊びたいな。</li> <li>・他にも葉っぱの遊び方があるのかな?</li> </ul>   | ☆遊びの楽しさや遊びを工夫したり遊びを創り出したりする面白さに気付いている。(行動・発言)<br>【知識・技能】<br>☆友達のよさを取り入れたり、自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。 |
| 5   |  | (行動) 【主体的に学習に取り組む態度】   |
| 5   |  | ◎学習を終えた時点での「葉っぱ探検隊レベル」を聞き、本時のめあての達成度の自己評価ができるようにする。  |



(3) 板書計画

6がつ 9にち すい ようび てんき☀ きおん28ど

はっぱで いっしょに たのしく あそぼう。

はっぱはかるい



おもいもある

ほそいはっぱ



めずらしい

がくしゅうのながれ

- ①はっぱであそぶ
- ②はっけんやきづきをつたえる
- ③もう1かいあそぶ
- ④あたらしいはっけんやきづきをつたえる。
- ⑤がくしゅうをふりかえる。

かわいたはっぱはかるい



はっぱのもようは  
かみにうつる

へんなしわがある

うかないのもあった!

みどりはっぱがおおい

あそびのやくそく

- つかった どうぐは もとにもどす。
- ともだちや じぶんが けがを するような あそびかたは しない。

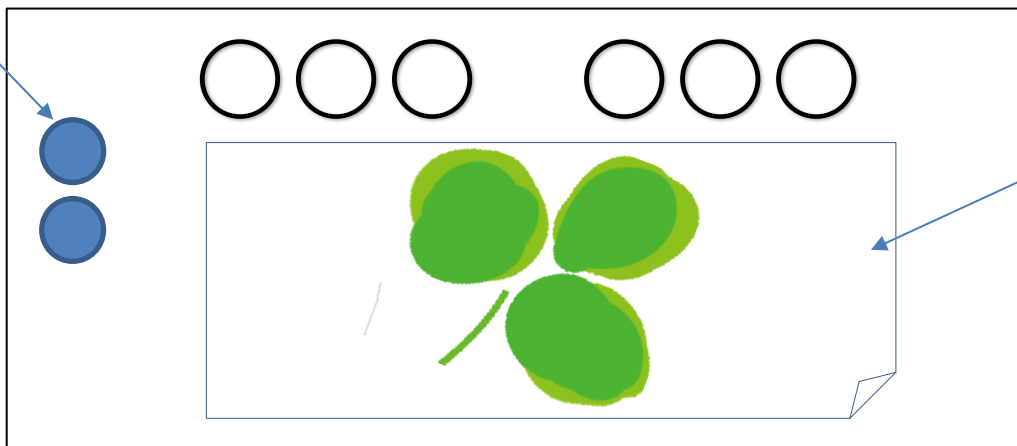
(4) 資料等

○葉っぱ探検隊活動レベル (自己評価基準) ※主な目的は「意欲付け」

- (レベル1).....はじめの じぶん
- (レベル2).....「はっぱビンゴ」クリア
- (レベル3).....「はっぱカードあそび」クリア
- (レベル4).....「かたばみあそび」クリア
- (レベル5).....「はっぱあそび」 けいかく クリア
- (レベル6).....「はっぱあそび」で あそんだよ!
- (レベル7).....「はっぱあそび」で いっしょに あそんだよ!
- (レベル8).....「はっぱあそび」で いっしょに たのしく あそんだよ!
- (レベル9).....「はっぱのあそび」の おうさま (はっぱの あそびかた してるよ!)
- (レベル10).....「はっぱあそび」の かみさま (はっぱのこと なんでも わかるよ!)

本時の展開に関連する部分

探検隊の活動レベルに応じて丸シールを貼る。



幅広セロテープで葉を密閉する。

※学校の敷地内で見つけたお気に入りの葉っぱを貼り付けたネームプレート



月 日 てんき ( ) きおん ( )

1ねん くみ なまえ

○○小 しょくぶつ たんけんたい



とら はかせ からの おねがい

○○ しょうがっこうの 1ねんせいの みなさんに ちょうさのおねがいです。○○ しょうがっこうの しきちないには どのな しょくぶつがあるか、はっぱの かたちを しらべてください。  
みつけた はっぱは したの かみにはってください。  
はっぱは ビンゴカードにはれる おおきさを えらんでね!

|              |                |                   |
|--------------|----------------|-------------------|
| 1 あかいろのはっぱ   | 2 きいろのはっぱ      | 3 ぎざぎざのはっぱ        |
| 4 ほそながいはっぱ   | 5 おもしろいにおいのはっぱ | 6 こゆびのつめよりちいさなはっぱ |
| 7 まるいかたちのはっぱ | 8 ほしのかたちのはっぱ   | 9 ♥のかたちのはっぱ       |